

2013 年 平成 25 年度 あおい会同窓会・総会報告



「久しぶり！」
「元気？」

不思議だ。四半世紀ぶりだというのに、昨日会ったかのように時が戻る。歳を重ねて、あの頃と立場や生活環境も違うの

に、会場は一瞬にして、セーラー服を着たお嬢さま方の校舎と化した。

今回、私が当番幹事をやらせていただくにあたって、どうしてもやりたいことがあった。それは、同期生全員に招待状を送るとい

あおい会に出席して

昭和63年普通科第40回3の6
当番幹事 西山 崇子(笠原)

こと。

東日本大震災があった2年前、私は卒業後初めて「あおい会」へ出席した。久々に会った3人の同期生。高校時代は、さほど交流があったわけではないが、思い出話から近況報告まで話が尽きない。歳のせいか、震災のせいか、大親友を亡くしたあとだったせいか、人が恋しくなっていたのである。私は、その時間がとても楽しく、なんとも言えない心地良さを感じていた。しかし、高校時代ご迷惑をかけた3人の先生がご逝去されていることがわかった。「先生、ごめんなさい。そしてありがとうございました。」大人になった今だから、伝えられる言葉がある。素直じゃなかったあの頃、言えなかった言葉を、恩師の先生や友に、きちんと伝えなきゃ！生きていくから…。「み

茨城県立水戸第三高等学校

あおい会 だより

第18号

発行所
〒310-0011 水戸市三の丸2-7-27
茨城県立水戸第三高等学校
同窓会 あおい会
TEL 029-224-2044
FAX 029-225-4524
URL <http://www.mito3-h.ed.jp/>
Eメール aoi@mito3-h.ed.jp
印刷所 株式会社 きど印刷所

んなに会いたい!!」ただ、それだけ。だから、何が何でも全員に招待状を送りたかった。残念ながら、住所が追跡できず届けられなかった方もいるが、メールのやりとりが始まった方もいる。今回、遠方からの多数の出席や返信に本当に感謝したい。総会であおい会を確認し、先生・先輩・友と笑い、歌い、身体を動かし、楽しい時間を過ごせた。そして、意気投合。次へつながる新しいものが生まれていく。やっぱり私達は、「青春」というあの時を一緒に過ごした仲間なんだね。会えて良かった。

「じゃあね」「バイバイ！」

明日また、あたり前に会うかのように手を振る。来年も、絶対元気に会って笑おうね。

平成25年度 総会次第

- 1 開会のことば 小堀 裕子(48年卒)
- 2 会長あいさつ 校長 根本 聡先生
- 3 来賓あいさつ 来賓 木村 富也先生
- 4 総会 旧職員 田中 明子(48年卒)

- 5 平成24年度事業報告
- 6 平成24年度決算報告
- 7 監査報告
- 8 あおい会規約改正について
- 9 平成25年度事業計画
- 10 平成25年度予算
- 11 役員紹介
- 12 あおい会だよりについて(17号)
- 13 余興 旧職員 小野 久江先生
- 14 余興 司会 軍司 史代(58年卒)
- 15 校歌 田中 明子(48年卒)
- 16 閉会のことば



当番学年余興1
進行は当番幹事58年音楽科 軍司史代さん(右)



参加者の笑顔



当番幹事38年音楽科
鈴木安代さん(前列)

夢の音に迎えられて
会場に入場



会場の様子



「追想」―想いをよせて

常任幹事 長山 博美(澤幡)

(昭和27年 芸能科 第二回)

私の高校生活は、県立水戸第三高等学校に芸能科が誕生した昭和24年、その第一期生として始まりました。私と同じ中学から10名、他校より18名、総勢28名と記憶しています。専用の教室もない中で音楽の授業、小方先生の熱心なご指導、厳しいながらも楽しい思い出深い授業でした。それまでは旧陸軍兵舎第42部隊が校舎となっていました。在学中に現在の三の丸に移ることになり、皆で涙を流しながら喜び合ったものでした。敗戦後の混乱と物不足の中、ピアノ1台オルガン4〜5台という環境でも、皆、競い合って練習に励んだものです。

昭和26年、創立25周年には講堂が竣工し、新しい校歌も出来しました。同窓生である鈴木明子さんの作詞、小方先生の作曲によるものです。皆でよく歌いました。今でも集まると口について出てくる大好きな校歌です。

故秋山千賀子さんとは、中学高校



ごあいさつ

学校長 齋藤 文夫

この四月に、根本聡前校長の後任として県教育庁保健体育課から水戸三高に着任いたしました。水戸三高の教育の充実・発展のために微力ながら一生懸命務めさせていただきますので、宜しくお願い致します。

常任幹事となって、年代の違った方々との出会いに時代の流れを感じながらも多くのことを学ぶことが出来ました。水戸三高の前身である水戸市立高等女学校の「闇

ご挨拶

思っています。

私が何とか務めを果たしてこられたのは、あおい会の皆様、事務局の先生方の温かい支えや励ましのおかげだと思ひ、幸せと感謝で一杯です。

これからも、伝統ある「水戸三高同窓会・あおい会」がますます高い誇りと品格をもって発展するように願っております。

がちな市立高女の方々の誇りや愛校心をも次世代に引き継ぎたいと

さて、本年度は、普通科240名(内、男子4名)、家政科40名、音楽科17名の新入生を迎え、生徒の在席数は、男子18名、女子893名、合計911名で新たなスタートを切ったところです。今年、本校創立88年になり、新入生が3年生になる時に創立90周年を迎えます。今後、周年事業の準備のために校内組織を立ち上げる予定です。準備の段階で様々な課題が生ずるものと考えられますが、あおい会の皆様には、適宜進捗状況を報告させていただきます。無いように進めてまいります。なお、本年度の学校経営計画の中で、目指す学校像として、「豊かな教養に充ち、心身ともに健やかで主体的に社会に貢献できる人材を育成する学校」を掲げました。この目標の達成に向け、教職員一丸となって教育活動のより一層の充実を図ってまいりますので、あおい会の皆様には、周年事業の準備も含めましてご支援ご協力をお願い致します。



ここで、学校施設の改修等についてお知らせ致します。テニスコートの改修工事が今年の3月下旬に完了し、生徒たちの活動も更に熱を帯びています。なお、新図書館の開館につきましては既にご案内の通りですが、会員の皆様慣れ親しんだ旧図書館は、今年の夏休みを目安に解体することになりました。また、1号館(管理・特別教室棟)は、本年7月から約7ヶ月をかけて耐震補強工事を行う予定です。授業や部活動等への影響が予想されますが、安全に十分配慮し、生徒が諸活動に集中して取り組めるように体制を整えてまいります。

結びに、あおい会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

恩師 特別寄稿



感謝

木村 富也(英語)

昭和48年、太田一高より赴任。三高は昭和51年、創立50周年を迎え、記念誌の写真を担当することになりましたが、戦前、写真を撮ることが少なく、収集に大変苦労しました。しかし、この機会に三高の歴史を学ぶことができました。

平成7年の創立70周年には、事務局長として企画運営全般を担当。特に音楽科の諸先生指導の下、式典で水戸地区の校長や来賓の方々を感激させた生徒全員による「大地讃頌」のみことな三部合唱は良い思い出となっています。

教科(英語)外に、高体連加盟の山岳部を、川崎徳智、小野久江、

久下沼光始の諸先生と指導し、生徒たちは全国大会や関東大会で登山技術を競いました。長期休業には、部独自の活動をし、全員が20kgもの重い真つ赤なザックを背負い、夏は穂高岳や立山や北岳等に登り、春は安達太良山(あだたらやま)の雪の山麓にテントを張り、厳しいながらも充実した山行を重ねました。燃えるような朝焼けの穂高連峰、満天の星、三千米からの満月の富士山など大自然のすばらしさを体験しました。

県下の高校の顧問たちと、何kmにも亘って咲くマツムシ草や銀色のじゅうたんを敷き詰めたようなエーデルワイスの草原をいくつも越え、モンゴルの中央に聳える雪の頂きに立ち、学術調査も兼ねるジープやトラック等で二千km、23日間の山旅をしました。

また、三高の顧問たちで、カナディアンロッキーの山中でクマに注意しながらテントを張り、針葉樹林の上空に走る真つ白な天の川を仰ぎ、白鳥座の下を横ぎる流星に畏敬の念を抱いたりもしました。

現在、75才。毎年、市の健康診査では注意されるところもなく年

齢相応の健康な日々を送っています。顧問として、常に体調に留意したお陰で、今日の私があることに感謝しています。

山岳部の新入生歓迎会で、テントを張って、一夜を過ごした「あおい会館」の梅の香漂う園生(そのお)は今どうなっているでしょうか……

「山と先生と友達と」

昭和63年 普通科 第40回 3の3

山岳部 綿引志雅子(山本)

高校時代からの夢が叶い、母校、水戸三高に勤務して4年が経ちました。

毎日、楽しそうに高校生活を送っている生徒を見ていと高校時代を思い出します。

当時、私が所属していた山岳部は部員が20名近くいたので、夏山合宿や春山合宿は、てんやわんやの大騒ぎの私たちを先生方三人で対応するのは大変だったと思います。

いつも私たちの先導をしてくれた川崎徳智先生、母親のような小野久江先生、木村富也先生は列の最後尾から私たちの写真をたくさん撮ってください、試合のための



モルゲンロート(朝焼け)の穂高連峰

緊急避難をしたこともありました。

どんな過酷な状況の時でもみんなで励まし合い、協力して困難を乗り越えてきました。一緒に笑い、時には喧嘩もしましたが、かけがえのない友人になりました。それも、どんな時もそばで私たちを見守ってくれた先生方が居て下さったおかげだと思っています。

昨年の同窓会総会で、久しぶりに木村先生、小野先生と再会、今度はあの頃のように、小さなテントの中で、ランタンのやさしい灯りの下、夜通し語り合いたいと思っています。

山の天気は変わりやすいと言いますが、高校2年の夏山合宿では、室堂からキャンプ場に歩いている途中、台風が接近し雷鳥沢のテント泊を諦め、雷鳥荘の布団部屋で一夜を過ごし、次の日はまだ夜の明けぬうちに小屋を出て一の越からきれいなご来光を見ました。

春山合宿では安達太良山にアタック、山頂から真つ白に輝く山並みを見ました。しかし、その夜は暴風雪となり、貸しスキーの小屋に



同期の山岳部員と、筆者は左側1番目

クラス会

マーガレット会

昭和37年普通科 第14回
3年1組 染谷 雅子(上野)



平成25年10月19日、鵜の岬のオーシャンビューに絶句、中庭に遅咲きの睡蓮がたくさん咲いておりました。

古稀を迎えた、私たちには、可憐な印象のマーガレットの花が会の名前では、気恥ずかしいのですが、三高の中庭に咲いていた思い出の花なのです。

出席者は55名中、25名でした。2名の方が亡くされました。

幹事さんの挨拶の後自己紹介と近況報告が、全員順番に行われました。

声としやべり方で、顔と名前とがようやく頭の中で一致するまで、私は少し、時間がかかりました。

今の暮らしの中で、一番話題になつたのは、親、夫などの介護のことでした。親御さんは長寿で皆さん90歳以上の高齢者でした。習い事、趣味などで登山をやっている方が多く、健康に気をつけて、足腰を鍛えているのでしょ

う。2ヶ月前に手術を要する大病をしても、同窓会に出たくて、がんばって、元気になり出席出来た方。障害者の方に、お習字、リハビリ体操などの奉仕活動をなさっている方もおられました。

幹事さんが、高校生の時の写真を持って来て下さり、回して見ました。なつかしいセーラー服！

最後に、「高校3年生」、「校歌」を歌いました。校歌はなかなか思い出せなかったのですが、1人バレー部にいた方が、完璧に覚えていらして、前に立って歌ってくれました。2番からは、皆さん思い出したらしく、無事元気いっぱい、歌いきりました。

高い音の所は、私は声が全然出ませんでした。

台風が大島に大きな被害をもたらして、3日目の寒い日でした。でも心の中は、暖かく自分の生き方にとっても良い刺激を受け、なかなか寝付けませんでした。

日立市近郊にお住まいの4人の幹事さんたち、ご苦労さまでした。次は3年後で、水戸にお住まいの方たちが、幹事を引き受けてくださいました。



前列左から5人目(筆者)

待たれた新図書館 開館される

平成25年6月17日に新しい図書館が完成しました。建設地の下の埋蔵文化財の発掘調査と東日本大震災の影響で2年遅れの完成となりましたが、明るく快適な図書館に生まれ替わりました。

6月28日の昼休みには、各クラスの図書委員が参加し、新図書館の開館式が行われました。根本校長先生のあいさつ、続いて生徒会長石川さんの開館の喜びのあいさつがありました。亀田PTA会長にもかけつけていただき、3名によるテープカットが行われ、正式に開館のはこびとなりました。

初代あおい会会長成瀬梅様より寄贈されました置時計を応接室より本来設置が予定されていた新図書館に移動しました。図書館の入口に来館者を迎えるような形で設置され、より豪華で落ち着いた雰囲気を与えてくれています。

本の貸し出しだけでなく、図書館には連日放課後、大ぜいの生徒が自学自習のために集まり、入試に備えて真剣に勉強に励んでおります。

(事務局 栗田)



図書委員



成瀬梅様寄贈



ときのひと

叙勲の栄に浴して

「瑞宝単光章受章」
昭和40年 普通科 第17回
3の1 小林千代子(和田)



私に叙勲のお話があった時は叙勲なんて夢にも思わなかったので本当にびっくりしました。

今は児童養護施設誉養徳園と呼ばれる職場環境に恵まれ、後輩の職員達に支えられ、家族・夫や姑に支えられた賜物と深く感謝しております。

この度の叙勲受章は、私個人だけではなく、県内の児童養護施設の関係者全体の励みともなることなので是非ということでしたので、敢えてお受け致しました。

児童養護施設とは、親からの虐待、登校拒否、知的障害、発達障害児などさまざまな問題を抱え、

家族の愛情に恵まれない子供達が、家庭的な環境で安心かつ安定した生活を送り、社会人としての自立を目標として養育している生活の場です。現在、園には3才児から18才の高校卒業するまでの子供達が、それぞれ幼稚園、小中学校、高校と、園から通園通学しております。

私たちは、直接指導として早番、遅番、夜勤の交替制で定員50名の子供の母親代わりとして一般家庭の母親が、我が子にしていることと全く同じことをやって来ました。

入学式、授業参観、運動会、病気で入院すれば泊りがけでの看病です。我が子より児童優先の生活でした。

子供相手ですので、その時、その場での判断処理など、悩みも多く、常に我が子だったらどう対処するかと自問自答する毎日でした。

特に、高校生には、常に卒園してから自分の身のあり方について考えるように言い、時には反発され、大げんかしたこともありま

した。

園に行き、子供達の笑顔に元気をもらい、気がつけば38年が経っていたのです。

職務として当たり前のことを当たり前にやってきたただけなのに、身に余る光栄と深く感謝致しております。

目標を持つということ

「生活の中の歌」
昭和43年 普通科 第20回
3の1 金沢はるみ(鈴木)



私は小学生のころから歌に興味を感じていました。

が、歌と本格的に向き合ったのは高校時代です。

NHKのオーディションに合格した時、将来は歌手になることを本気で考えました。しかし、家族の反対などもあって一度は諦めました。

高校卒業後は、県庁に就職し、結婚しました。職場で対人関係の重要さを学べたことは大きな収穫で、現在の私に生かされています。民謡の勉強を始めたのは結婚後のことです。家族の理解もあり、

昭和58年のこと「第四回 磯節全国大会」に出場し、優勝して日本一の栄冠を手にする事が出来まし



た。

これを機に日本コロムビア専属歌手となり(現在所属)「つくば万博音頭」でデビューし、歌謡曲・民謡など数々のオリジナル曲を発表、全国で発売されております。現在「人と人との和づくり」をモットーに、水戸市市民センター16ヶ所で750名に歌謡曲と民謡を指導しております。

また、NHK文化センター水戸教室でも、毎週木曜日に講師をさせて頂いており、楽しく通っております。

私にとって今年は記念すべき節目の年です。

歌謡曲指導を始めて30周年を迎えることが出来たこと、県民文化センター大ホールで「金沢はるみみんなで歌おう会」(9月20日(土))が開催出来ることです。新

曲も発表する予定です。

私は歌の道を選びました。1つの目標に向かって、好きなことを心を込めて一生懸命進めばいつか目的に到達出来ると信じています。

これからも、生活の中に歌を取り入れ、健康で楽しい人生が送れるよう、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

水戸三高に入学し、誇りを持って人生を歩んで来られたことに感謝しつつ、ペンを置きます。

いつか、どこかで、私の歌が流れた時は、応援、よろしくね。



学校の状況

平成25年度進路状況

現行の教育課程最後の学年だったことによる現役志向と国公立大志向の高まりにより、

苦戦を覚悟していましたが、

生徒たちの頑張りにより、茨城大学に28名、県立医療大学に3名、他県大4名を含め計35名が国公立大に合格しました。

この記録は歴代一位タイです。また、家政科から1名(茨城大学)・音楽科からは3名(茨城大学2名と山形大学1名)の合格者を出すという大健闘ぶりでありました。私立大学でも明治大学や中央大学・日本女子大学などの合格者も出し、進学率は約96%でした。就職については、高卒求人状況は今年度も大変厳しいものでしたが、無事希望者全員の就職先が決定しました。

【国公立大】

茨城・茨城県立医療・東京学芸・東京藝術・山形・

25年度の合格者数

卒業年度	25
国公立大学	35
私立大学	152
短期大学	19
専門学校等	76
就職	7
進学・就職旬日	6

都留文科

【私立四大】

明治・中央・日本女子・東京都立・日本・東洋・東海・専修・

獨協・神田外語・文教・神奈川・

昭和女子・女子栄養・大妻女子・

東京家政・洗足音楽・東京音楽・

常磐国際医療福祉・茨城キリスト他

【短大】

桐朋学園芸術短大・昭和音楽短大・日本大短大・常磐短大

【専門学校】

水戸医療センター看護・県立中央看護・つくば看護・水戸メデイカル・茨城理容美容他

【就職】

日立データセンター・ジャパニミート・ワイレブ・ジャパ

ン・茨城県警等



卒業式後に(あおい会寄贈の卒業証書ホルダーを片手にクラスでの記念撮影)

平成27年度(2015年)水戸三高同窓会 あおい会総会・懇親会のお知らせ

日時 平成27年7月5日(日)

受付 11:00～

総会 11:30～12:00

懇親会 12:00～14:00

会場 大洗シーサイドホテル

電話 029(267)2111

大洗町磯浜町6881(大洗磯前神社下)

会費 6,000円

クラス幹事から『同窓会のお知らせ』が届く事になっていますが、住所を変えた方など諸般の事情により『お知らせ』が届かない場合もあります。

クラス幹事は、2015年6月10日(水)までに必要事項(同窓会出席者氏名、卒業年、科、組)を記入して郵送で水戸三高同窓会事務局(310-0011)水戸市三の丸2-7-27へ、お申し込み下さい。

同窓会参加について詳しく知りたい方は、事務局へ問い合わせるか、又は「水戸三高ホームページ」より「同窓会」をご覧ください。

※注意※ 参加申し込み後、都合で出席できなくなった場合は、必ず6月30日(火)までに事務局(電話029-224-2044)へご連絡下さい。ご連絡無く当日欠席の場合は会費をご送金いただく事になりますのでご了承下さい。

今回の同窓会運営・進行に当たる当番幹事のクラス幹事は、下記の学年です。
昭和40年、45年、50年、55年、60年、平成2年、7年、12年3月の卒業生です。

※水戸三高同窓会あおい会

TEL029-224-2044 FAX029-225-4524

ホームページ <http://www.mito3-h.ed.jp/>

同窓会あおい会 クラス新幹事

(平成26年3月卒業)

M	K	6	5	4	3	2	1	組
福澤祐里子	井上 莉緒	佐々木愛美	蛭町 理美	柏 梓葉	石川 舞	山口美紗樹	浦野 有菜	氏 名
山田 紀緒	鬼澤 芽依	岡田紗也加	皆川 由紀	木村 更紗	伊藤美佳子	野口明日香	高橋 未帆	氏 名

新会員295名

平成26年3月(退職の先生方)

校長 根本 聡先生
副校長 駒木根啓美先生

平成26年3月(転入の先生方)

教諭 小野寺 広先生(教頭 那珂高へ)
丹代 敬伸先生(日立商高へ)
鯉淵 祐一先生(太田二高へ)
小坪 洋一先生(水戸桜ノ牧高へ)

平成26年4月(転入の先生方)

校長 齋藤 文夫先生(保健体育課から)
副校長 入野 洋一先生(昇任 水戸三高から)
教頭 青砥 孝子先生(昇任 笠間高から)
教諭 丹 秀一先生(新採)
海老根博道先生(磯原郷英高から)
小島 隆則先生(石岡一高から)
木戸 明良先生(水戸一高から)
再任教諭 小松崎泰洋先生(竜ヶ崎二高から)
教諭 福金 貴子先生(昇任)
※講師、非常勤講師を除く

編集後記

「あおい会だより」、楽しくお読みいただけたなら幸いです。

今年も、お忙しい中、快く御寄稿下さった方々にお礼申し上げます。企画・紙面の割付け、校正と、念入りに作業したつもりではありますが、不備の点などありましたら、ご容赦下さい。

今年は7月に全国高等学校総会文化祭が茨城県で開催されます。また母校では90周年を間近にひかえて何かと忙しくなりそうです。

編集委員

宮田満里子 小沼 佳子
小川 里恵 小貫 早苗
綿引志雅子 宮田 桜子